

産から学へ

宇都宮大学地域共生研究開発センター

Vol.3

株式会社桑名商事インタビュー

日 時：平成21年6月9日(火) 9:30～11:30

場 所：桑名商事・本社

インタビュー対象者：代表取締役 桑名 朗 社長

インタビューアー：荘司CD、佐々木

会社概要

社 名 株式会社桑名商事
創 業 昭和31年1月
資 本 金 5,000万円
年 商 8億2千万円(2010年度実績)
本 社・工 場 栃木県真岡市寺内1493-1
営 業 所 神奈川県横浜市神奈川区三枚町572-1
代 表 者 代表取締役 桑名 朗
従 業 員 数 65名(2010年12月現在)
U R L <http://www.kuwana907.com/>



事業概要について、お聞かせください。

昭和31年に横浜で創業し、めっき等の表面処理を総合的に
行っております。我々が化学めっき、電気めっき技術で表面処理
を提供した製品は、自動車、産業機械、医療機器など多くの分
野で活躍しています。

創業当時、自動車の部品を黒く染める四酸化鉄皮膜処理を
行なうため、社内で薬品の製造を始めました。薬品については
素人同然でしたが試行錯誤の中自分達で作らないと気がすま
ない社風が、現在なお技術を担当する研究員に引き継がれ新
たな機能を目指し研究開発を行っております。



にこやかに工場を案内する桑名社長

今後の企業の方向性について、お聞かせください。

今後は、特殊めっき技術を活かして新たな加工技術を生み出
すことを考えています。プラスチック成型器の寿命が格段に延
びる皮膜を開発しましたので、その展開を進めています。

また、有害物質を利用しないめっき技術の開発、めっき廃液
の無害化処理システムの開発に携わり、安心、安全、且つ機能
も向上させためっきシステムの開発に取り組んでいます。



無電解Ni(左)/黒色無電解Ni-KSW(右)

従業員の方の育成は、どのようにされているのですか？

学会発表や展示会への出展は、人材育成の場です。発表に不慣れな社員も、研究成果や技術をアピールするために自ら説明の仕方や資料の作成に工夫を凝らします。社外に出て多くの知識と経験を積み重ねる場面を大切に致しております。

また、仕事において、どのような問題が存在し、いかに解決するかを考え、実行することが大切です。その能力を育てるために、問題を文章にすることで相手に伝える訓練になりコミュニケーション力も身に付きます。私は、かつての飛び込み営業の経験から、コミュニケーション力を重視しています。お客様とのコミュニケーションも社内のコミュニケーションも、相手に対して表現する方法や熱意で伝わり方が異なります。特に、我々のような中小企業においては、現場の人間と技術の人間が一体にならなければ、良い仕事はできません。

弊社は、創業当時から社員が新しいものを自分達で作り出す社風です。今後も社員の発想を大切に、色々なことにチャレンジできる環境であり続ける思いです。

桑名商事の企業理念「めっき技術を活かした改善提案型企業を目指し、社会に貢献する人材を育成する」をテーマとし、社員がチャレンジできる会社を目指しております。



◀めっき皮膜の解析

▼中国企業視察



インターンシップ制度はありますか。

毎年、募集しています。宇都宮大学の学生にも参加頂きました。

インターンシップは、アルバイトとは異なる視点で企業を見るチャンスです。異なる部署を数日ずつ体験し、開発の面白味も感じられる内容を心掛けています。いつでも歓迎しますので、大いに参加して頂きたいです。

学生には何かアドバイスはありますか？

学生にとって一番大切なのは、体験だと思います。あまり深刻に考えすぎずに、まず行動することをお勧めします。色々体験しているうちに身に付くこと、気付くことがあります。就職活動においても、しっかり自分の目で見て体験したことを重視し、信じる道に進んでください。

弊社では、会社訪問頂く学生への案内は若い社員に任せております。ありのままの企業の姿を見ていただき、社会へ踏み出す一歩を確り考えエントリー願えるよう心がけております。

出会いの中から生まれる、人との縁、企業との縁、人の出会いが成長への源と考えております。



めっきライン

新入社員の採用では、どのような点を重視しますか。

採用にあたり企業の社風や生き様が、本人に取ってより良い出会いであるかを最も重視します。入社試験では「学んだ知識と共に、学生時代に自分の時間をどう過ごしたか」「これから何を目指すのか」「将来どのような場面においても勝ち残る意志、自立心、感性」の3つのキーワードをお聞かせ願っております。

社長の夢は何でしょうか？

めっきと言う無限の技術を大切に、「夢を持ち」「殻を破り」「諦めず」「楽しむ」という4つの思いを持ち続け、自社の技術をより多くの方に知って頂き、技術力・人間力・指導力を高め社会が認める価値を創ることです。



社員と供に

宇都宮大学 地域共生研究開発センター 産業交流振興会
宇都宮大学 地域共生研究開発センター 広報室

〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東7丁目1番2号
E-mail:chiiki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

TEL 028-689-6316 / FAX 028-689-6320
URL: <http://www.sangaku.utsunomiya-u.ac.jp/chiiki>